

2024年5月10日（金）**13:00** 発表

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学

芸術情報・広報課（橋川、青谷、澤田）

Tel.0561-76-2851 Fax.0561-62-0083



## 国立印刷局の工芸官による特別講義を5/17（金）開催

### ～ 日本銀行券と国立印刷局工芸官の技巧 ～

愛知県立芸術大学では、2024年5月17日（金）に国立印刷局の工芸官による本学学生対象の特別講義を開催します（主催：美術学部油画専攻版画研究室）。本学での開催は初めてとなります。

この特別講義で学生は、国立印刷局におけるエングレーヴィングと呼ばれる銅版画の技法（お札の肖像や文様などを銅版にビュランという特殊な工具を用いて彫刻する）を中心にセキュリティ印刷における工芸官の超絶技巧を学びます。

ぜひ貴社にお取り上げいただきたく、お願い申し上げます。

#### 【取材対応】

取材を行う場合は、事前申し込み（5月16日（木）16:00まで）が必要です。

また、特別講義における申し込み各社に対して、国立印刷局広報官室より事前レク（資料配布あり）を行いますので、予めご承知おき願います。

申込先：愛知県立芸術大学 学務部 芸術情報・広報課 aua-pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp

事前レク

日 時：5月17日（金）9:00-（20分程度）

場 所：愛知県立芸術大学 管理棟 3F 中会議室

\*8:55までに取材対応窓口（管理棟 2F 学務部芸術情報・広報課事務室）へお越してください。

#### 特別講義について

日 時：2024年5月17日（金）

9:30～10:00 スライドレクチャー 「留意事項の説明等」

10:00～10:30 凹版彫刻の実演 「凹版彫刻技法等の説明、エングレーヴィングの実演」

10:30～16:00 凹版彫刻の実技指導 「工芸官が学生にエングレーヴィングの実技指導」

（11:30～12:30 休憩含む）

受講対象：愛知県立芸術大学学生

場 所：愛知県立芸術大学 総合研究棟 版画研究室

---

## 概要

国立印刷局が製造する日本銀行券などの原版作製では、現在でも工芸官による手仕事の中核となっています。ビュランという金属の細密彫刻に適した専用の彫刻刀が用いられますが、このビュランを使いこなすには熟練を要し、長い年月と根気が必要とされます。この講義は、国立印刷局の工芸官がどの様に緻密な画線を彫り進めているかを知ることができます。

国民経済に不可欠なインフラストラクチャーの1つである日本銀行券の製品設計を担っている国立印刷局工芸官の高い技術と版画技法が繋がることを、身をもって体験できる今回の特別講義は、版画やデザインを勉強した学生たちの将来のキャリアについての可能性と選択肢を広げる絶好の機会となります。

また、工芸官による特別講義は、銀行券に対する国民の信頼を維持するために必要な情報として、国立印刷局が長年培ってきた工芸官の高い技術を国民の皆さんに知って頂くことを目的とした、社会貢献活動の一環でもあります。

## 取材のポイント

これまであまり外部に出ることのなかった国立印刷局のビュラン彫刻技術の特別講義について取材ができます。通常はメディアに顔を出さない工芸官\*が、実際に学生へ向けてその知識や知見の一端を説明しながら解説する特別講義です。

\*工芸官の顔撮影不可、氏名等は、公表できませんので、予めご了承ください。

\*展示品の取材及び撮影不可ですので、予めご了承ください。

\*特別講義は、授業として行います。進行を中断するような取材撮影は、ご遠慮いただけますようお願いいたします。

## 担当教員 美術学部 倉地 久 教授（副学長）のコメント

愛知県立芸術大学美術学部では、緑豊かな森の中で、感性を磨き表現を深めながら、高度な専門知識を持った多彩な人材を育てる教育を行なっています。今回の特別授業は、多彩な教育やキャリア支援の一環として開講しています。

浮世絵に象徴されるように、欧米とは違い特異な文脈性を持つ日本の版画表現は、独自の表現力と技術力を背景に、現在でも国際的に高い評価を得ています。これは、些細なことにも気を配り、物事を極めることに長けた日本人特有の感性があるからではないでしょうか。我が国の紙幣はこうした感性に裏打ちされるように、金属凹版の整版行程や摺刷力、厳選された紙の素材など、高度な技術の結集によって出来上がっています。

今回の国立印刷局の特別授業を通して、日本版画の圧縮された「匠の髓」をご堪能ください。

## 問い合わせ

<取材及び本学に関するお問い合わせ先>

愛知県立芸術大学 学務部 芸術情報・広報課 [aqa-pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp](mailto:aqa-pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp)

<工芸官及び特別講義に関するお問い合わせ先>

国立印刷局広報官室 Tel.03-3587-4211/E-mail : [proffice@npb.go.jp](mailto:proffice@npb.go.jp)